



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月12日
東

上場会社名 株式会社デザインワン・ジャパン 上場取引所
 コード番号 6048 URL <https://www.designone.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 靖雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 田中 誠 (TEL) 03(6421)7438
 四半期報告書提出予定日 2021年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	1,336	△9.5	134	△30.3	156	△22.9	166	22.1
2020年8月期第3四半期	1,475	—	193	—	202	—	136	—

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 175百万円(28.3%) 2020年8月期第3四半期 136百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	11.24	11.21
2020年8月期第3四半期	9.01	8.96

(注) 2019年8月期第4四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年8月期第3四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	3,634	3,219	88.5
2020年8月期	3,382	3,105	91.8

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 3,217百万円 2020年8月期 3,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,823	△5.3	123	△39.3	143	△32.9	150	△1.7	10.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社(社名) 株式会社DEECH 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期3Q	15,161,300株	2020年8月期	15,116,300株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	426,258株	2020年8月期	160,658株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期3Q	14,778,930株	2020年8月期3Q	15,111,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記載につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、非常に厳しい状況となりました。個人消費におきましては、一時は持ち直したものの、緊急事態宣言が年明けから2度発出されたこともあり、先行き不透明な状態が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「Webマーケティング技術」や「システム開発力」を活かし、店舗情報口コミサイト「エキテン」を中心にサービスを提供するとともに、子会社を通じた事業の多角化を積極的に促進いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、「エキテン」における有料店舗会員数が減少したことを主因として、売上高は1,336,295千円（前年同四半期比9.5%減）となりました。利益につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの売上高の減少の影響が大きく、営業利益134,857千円（前年同四半期比30.3%減）、経常利益156,127千円（前年同四半期比22.9%減）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益を第1四半期に計上したことにより、166,168千円（前年同四半期比22.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「インターネットメディア事業」の単一セグメントから、店舗情報口コミサイト「エキテン」による「インターネットメディア事業」、システムの受託開発をはじめとした「DXソリューション事業」の2つの報告セグメントと、「その他」の3区分のセグメントに変更しております。

（インターネットメディア事業）

当社グループの主力事業である店舗情報口コミサイト「エキテン」におきましては、店舗獲得を進めるために、無料店舗会員の獲得に向けたWebマーケティング施策の実施、および各種キャンペーン等を行いました。また、日本マイクロソフト株式会社が運営する検索エンジン「Microsoft Bing」との連携等によって、サイトへの流入拡大を図ってまいりました。

これらの効果によって、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、受注件数の回復と解約件数の減少を実現して、有料店舗会員数の下げ止まりが見えてまいりました。なお、当第3四半期連結会計期間末における「エキテン」の無料店舗会員数は262,258店舗、有料店舗会員数は17,415店舗（前連結会計年度末比874店舗減少）となりました（販促のための有料掲載サービス利用料金の無料適用先は、無料店舗会員数に含んでおりません）。

この結果、インターネットメディア事業の売上高は1,210,804千円、セグメント利益は212,852千円となりました。

（DXソリューション事業）

ベトナムのシステム開発子会社であるNitro Tech Asia Inc Co. Ltd.のローコストおよび中小案件における対応力といった優位性を活かして、順調に受注を拡大いたしました。

この結果、DXソリューション事業の売上高は95,574千円、セグメント利益は11,708千円となりました。

（その他）

前連結会計年度に子会社化した株式会社昼jobの人材紹介サービスは、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大による求人需要低下の影響を受けて、売上が伸び悩みました。

この結果、その他事業の売上高は57,023千円、セグメント損失は2,398千円となりました。

なお、当社グループにおける新たな事業領域の拡大を目的として、ポスティングを軸とした「エリアマーケティング」を行っている株式会社DEECH（旧社名：株式会社アマネコミュニケーションズ）の株式を取得し、子会社化いたしました。2021年5月31日をみなし取得日としているため、同社の損益は当第3四半期連結累計期間の業績には反映されておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ251,888千円増加し、3,634,128千円となりました。

これは主に、有価証券の減少(前連結会計年度末比100,277千円減)、仮払金が減少したことによる流動資産その他の減少(前連結会計年度末比99,282千円減)等がありましたが、満期保有目的債券の償還等による現金及び預金の増加(前連結会計年度末比151,685千円増)、のれんの増加(前連結会計年度比77,080千円増)及び、投資有価証券の増加(前連結会計年度末比193,672千円増)等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ137,708千円増加し、414,152千円となりました。

これは主に、未払法人税等の減少(前連結会計年度末比28,470千円減)等がありましたが、1年以内返済予定の長期借入金の増加(前連結会計年度比12,360千円増)、賞与引当金の増加(前連結会計年度比20,438千円増)及び、長期借入金の増加(前連結会計年度比154,465千円増)等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ114,180千円増加し、3,219,975千円となりました。

これは主に、自己株式の取得による減少(前連結会計年度末比62,704千円減)等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加(前連結会計年度末比166,168千円増)等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,018,223	2,169,908
売掛金	106,294	135,022
電子記録債権	—	2,774
有価証券	500,277	400,000
仕掛品	4,587	11,258
貯蔵品	3,559	2,393
その他	127,248	27,965
貸倒引当金	△8,584	△10,909
流動資産合計	2,751,605	2,738,413
固定資産		
有形固定資産	63,817	71,144
無形固定資産		
のれん	136,590	213,670
その他	11,301	10,665
無形固定資産合計	147,892	224,335
投資その他の資産		
投資有価証券	233,201	426,873
その他	185,723	173,360
投資その他の資産	418,925	600,234
固定資産合計	630,635	895,714
資産合計	3,382,240	3,634,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,380	13,740
買掛金	—	11,159
未払金	130,089	124,108
未払法人税等	39,262	10,792
役員賞与引当金	131	72
賞与引当金	1,986	22,424
ポイント引当金	977	992
その他	65,773	32,619
流動負債合計	239,601	215,909
固定負債		
長期借入金	5,290	159,755
資産除去債務	31,553	37,121
その他	—	1,367
固定負債合計	36,843	198,243
負債合計	276,444	414,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,105	648,780
資本剰余金	628,105	628,780
利益剰余金	1,866,623	2,032,791
自己株式	△37,482	△100,186
株主資本合計	3,105,352	3,210,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	503	410
為替換算調整勘定	△1,633	6,636
その他の包括利益累計額合計	△1,129	7,046
新株予約権	370	54
非支配株主持分	1,202	2,708
純資産合計	3,105,795	3,219,975
負債純資産合計	3,382,240	3,634,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
売上高	1,475,991	1,336,295
売上原価	163,287	149,346
売上総利益	1,312,704	1,186,948
販売費及び一般管理費	1,119,217	1,052,091
営業利益	193,486	134,857
営業外収益		
受取利息	1,313	2,101
受取配当金	—	40
投資有価証券売却益	—	7,241
違約金収入	6,584	5,089
助成金収入	—	3,754
還付消費税等	—	3,769
その他	1,003	1,289
営業外収益合計	8,900	23,285
営業外費用		
支払利息	—	86
為替差損	—	1,168
投資事業組合運用損	—	547
支払手数料	10	212
営業外費用合計	10	2,015
経常利益	202,376	156,127
特別利益		
投資有価証券売却益	—	92,114
新株予約権戻入益	30	316
特別利益合計	30	92,431
税金等調整前四半期純利益	202,406	248,558
法人税、住民税及び事業税	81,664	52,076
法人税等調整額	△15,689	28,948
法人税等合計	65,974	81,024
四半期純利益	136,431	167,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	315	1,365
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,116	166,168

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	136,431	167,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△93
為替換算調整勘定	529	8,270
その他の包括利益合計	529	8,176
四半期包括利益	136,961	175,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,645	174,344
非支配株主に係る四半期包括利益	315	1,365

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

当社グループはインターネットメディア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	インターネ ットメディ ア事業	DXソリュー ション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,210,767	68,504	1,279,272	57,023	1,336,295	—	1,336,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	27,069	27,106	—	27,106	△27,106	—
計	1,210,804	95,574	1,306,378	57,023	1,363,401	△27,106	1,336,295
セグメント利益	212,852	11,708	224,560	△2,398	222,162	△87,305	134,857

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HRソリューション事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△87,305千円には、セグメント間取引消去1,526千円、のれん償却額△23,282千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△65,549千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、量的基準より判断して、当社の報告セグメントは「インターネットメディア事業」のみとなるため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、第1四半期連結会計期間において、量的な重要性が増したため、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「インターネットメディア事業」、「DXソリューション事業」の2区分に変更し、報告セグメントに含まれない事業セグメントを「その他」としてセグメント情報を開示しております。

なお、市場、顧客の種類及びサービスの内容が概ね類似している事業セグメントを集約しております。

「DXソリューション事業」は、ベトナムのダナンにあるシステムの開発企業で、低コストで高品質なオフショア開発・ラボ型開発等で長年実績のある子会社のNitro Tech Asia Inc Co. Ltd.を通じて行う日本企業向けのシステム開発事業であります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、必要な財務情報を遡って作成することが実務上困難であるため、開示を行っておりません。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は単一セグメントであることから、前第3四半期連結累計期間の区分方法により作成した当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。